

青葉の歌



山田まなび

わたしとママはよく
放課後の音楽室にレクバコンで
歌をうたっていた。



わたしはピアノの
伴奏で



ママはソプラノ。



え〜

ねーねー
カズネ!
アレヤ、こよ
アレ!



だって
好きなんだもん!

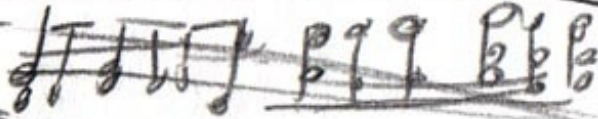
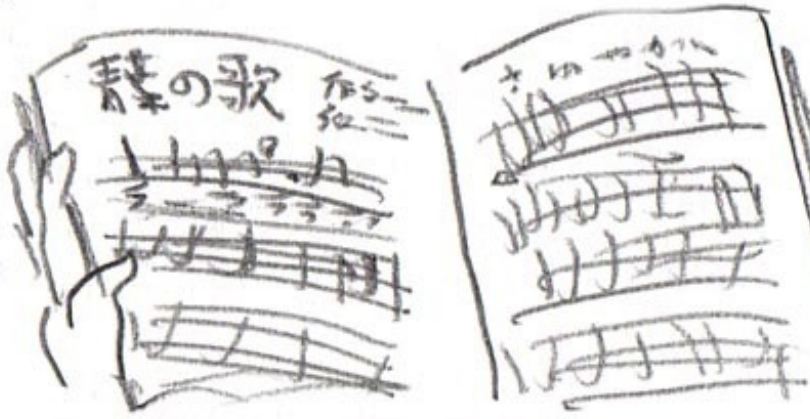
もー
飽きたよ



ダキ!
当日はカズネ弾くん
だから、練習練習!

伴奏難しーんだよ
アレ...

なにはいー



「青葉の歌」
ファミシはこの曲が大好きだ。



よくらからな
理由だ...

伴奏が
好まじしい。

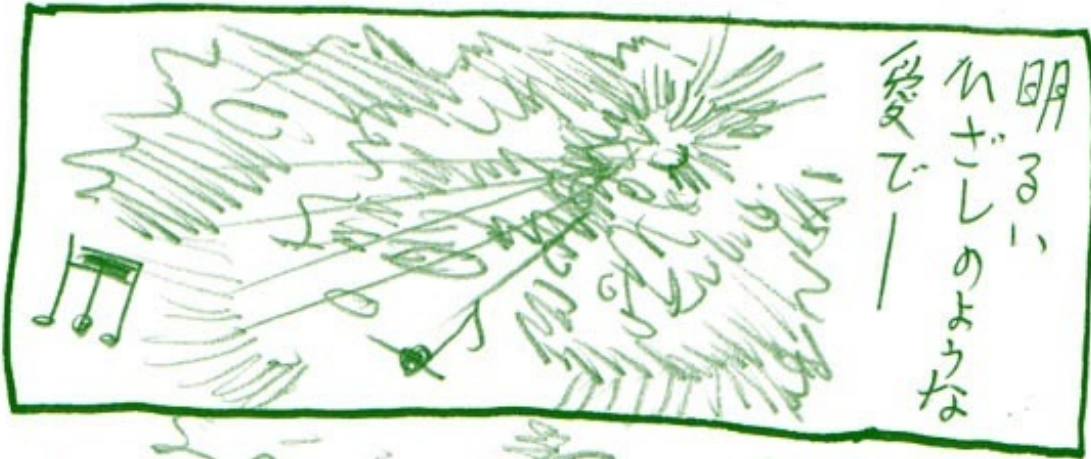


いつかキーンと...
いかきんとー

そんなら...
そんなら...



青葉よ さらさら...
さらさら...



明るい
ほろほろのよう
な
愛でー

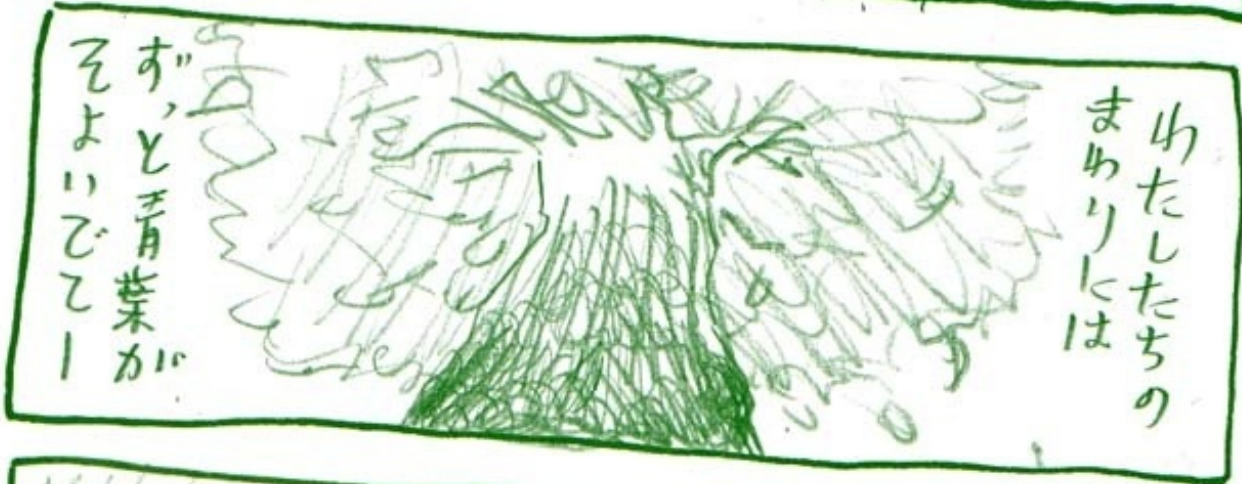


世界中を
つなぐ
月か

まことまこと
やってくるー



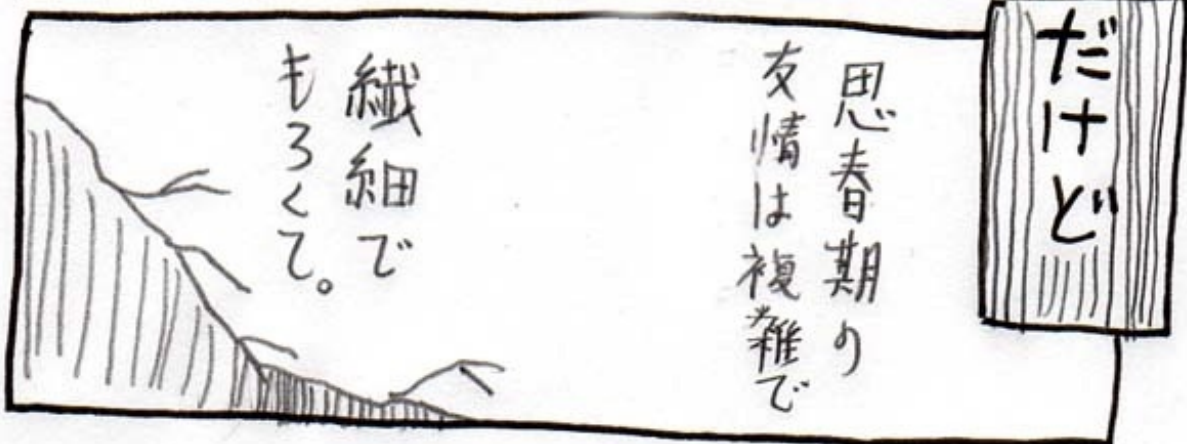
すいと
 こうしていられると
 思ってた。



だけど

思春期の
友情は複雑で

繊細で
もろくて。



おはよ...



マジだって
それで口腐かなくて、

カズニア
マジの悪口
しゃべってたって?!

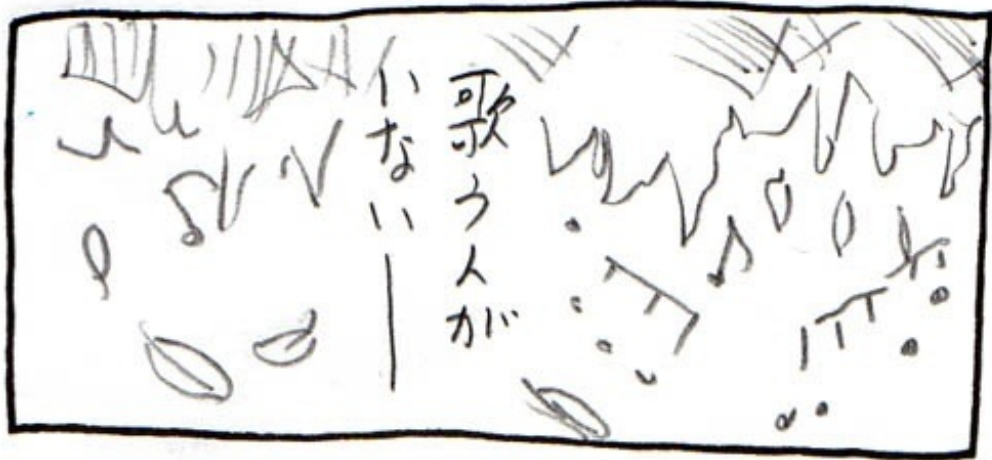


ハキナリ
シカトされた。

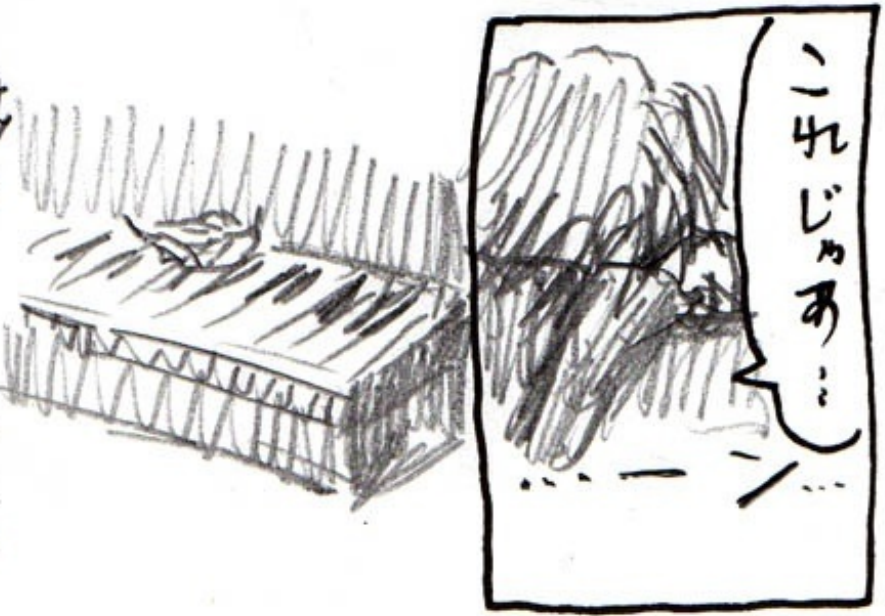




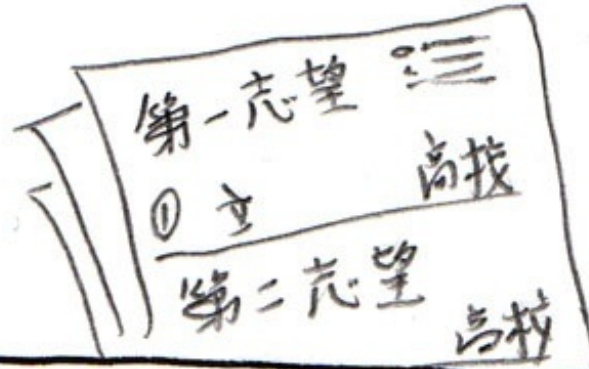




枯葉の歌だ。



それから
おび受駈になつて



進路を考へなま
りけなくなつて

もやとなつて消えかかっていた。



わたしは
マミの存在か。



すごいねカズネ
音楽系
行くんだって？



うん……
ギリギリだけど

わっはピアノ？



それはまだ
決めてない……



マシは……



マシは
どうなの？

マシ？



第一志望
受かったって！

でモヤニー
引ッーッーなんて
+バレいよー

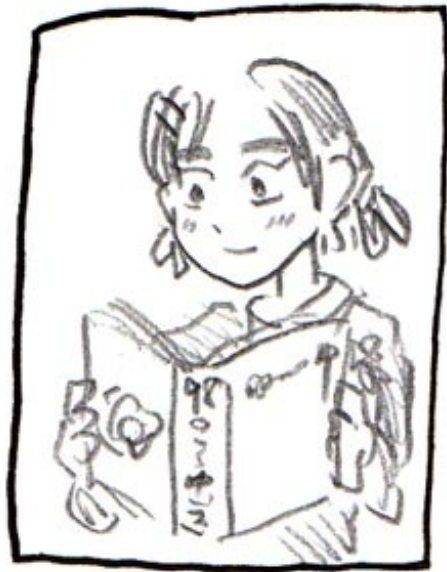


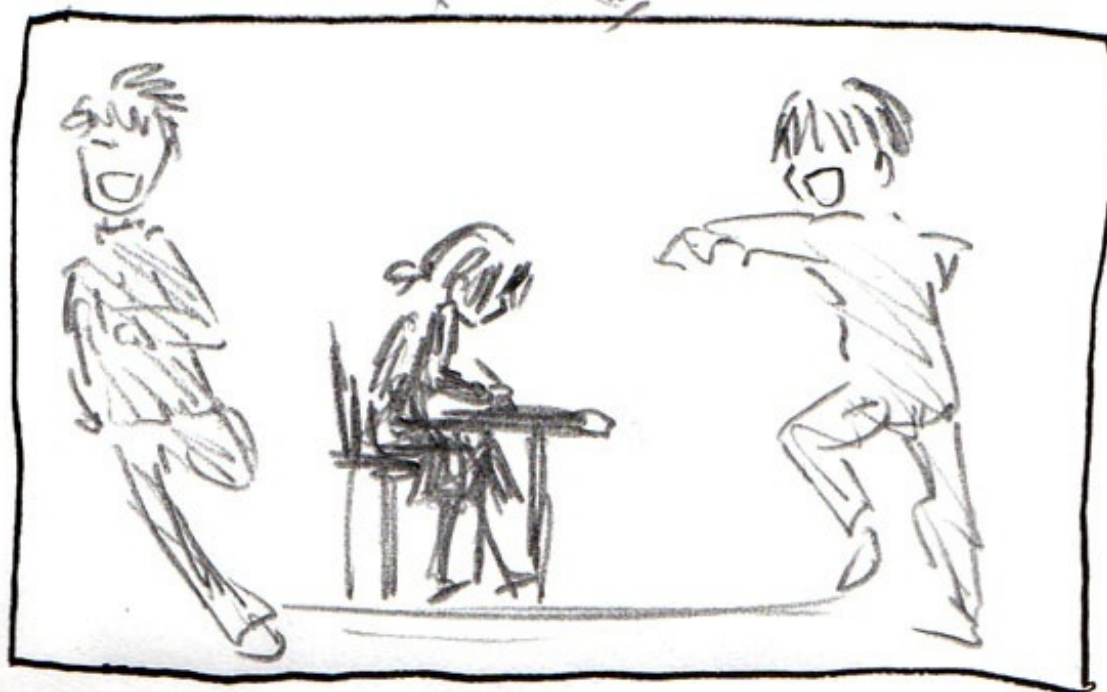
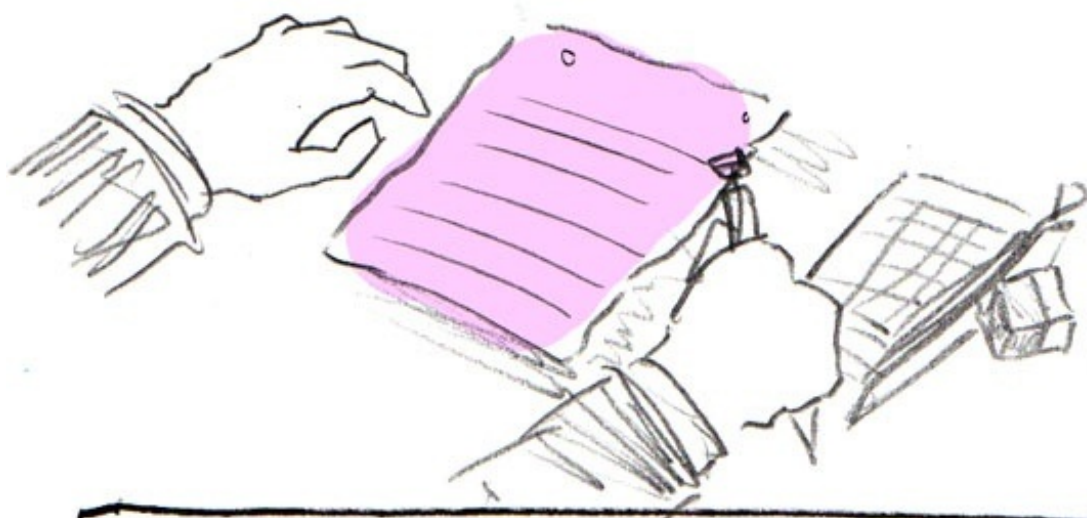
え

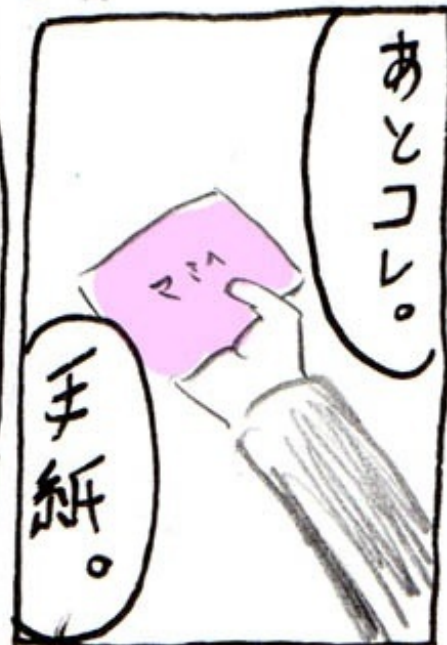


十一
あ知らない。
遠いみたいよ。

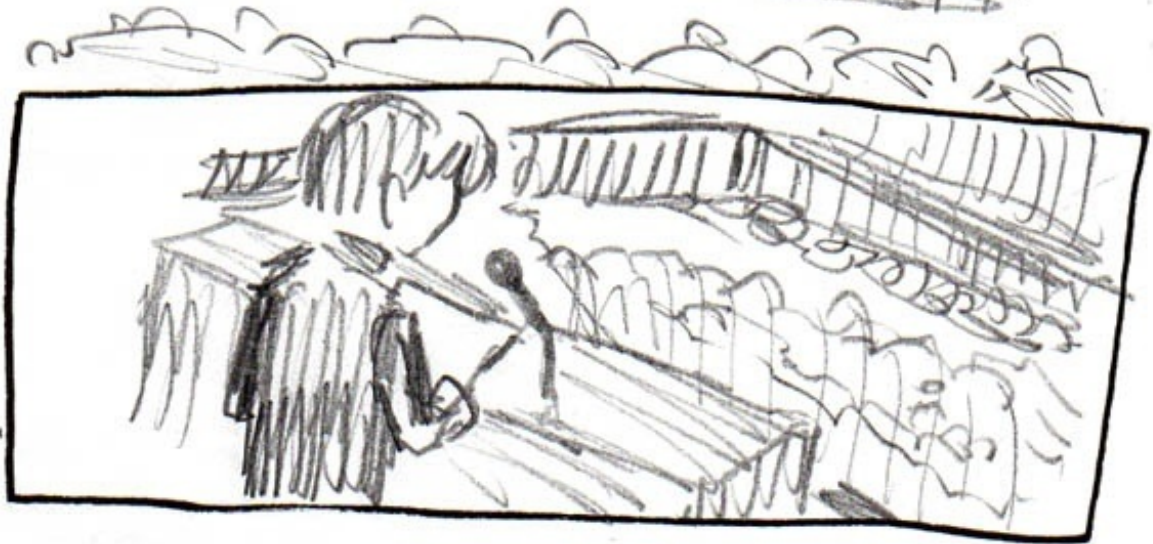














マミハ

(気に入らなかつたら
おぶいて捨てるね)



「引っこしてしまおう
と聞いたので
マミハの封筒を
おぶきました」



「第一は心ゆ
愛か、たん
だ、てね」

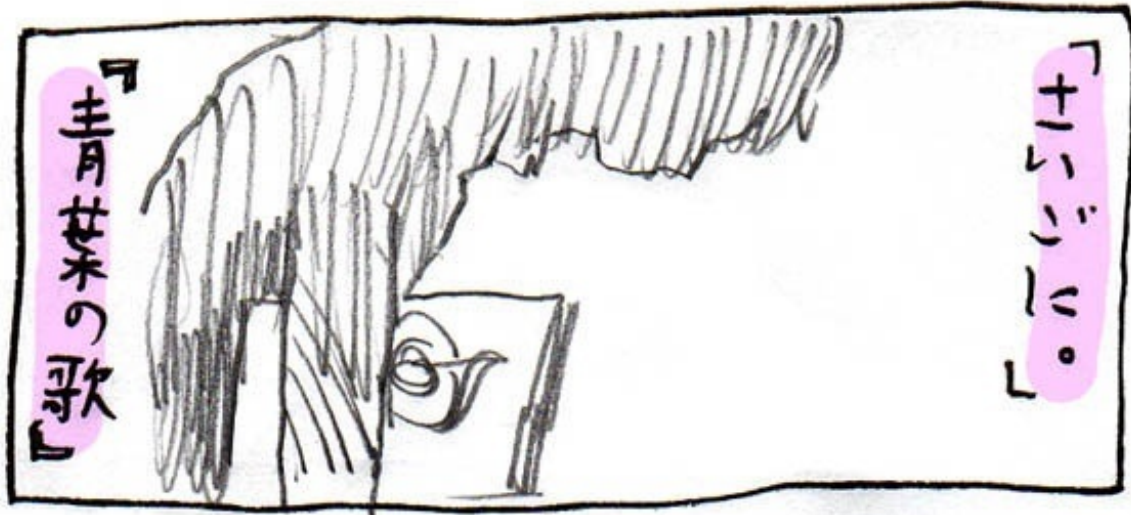
「おめでとう！」



それでは
卒業生による合唱
「青春の歌」です

卒業生、起立ノ
カタ

「とおくに行ってしまうのは
さびしいけどがんばるね！」



「青森の歌」

「+15分」



「うたいましょ」

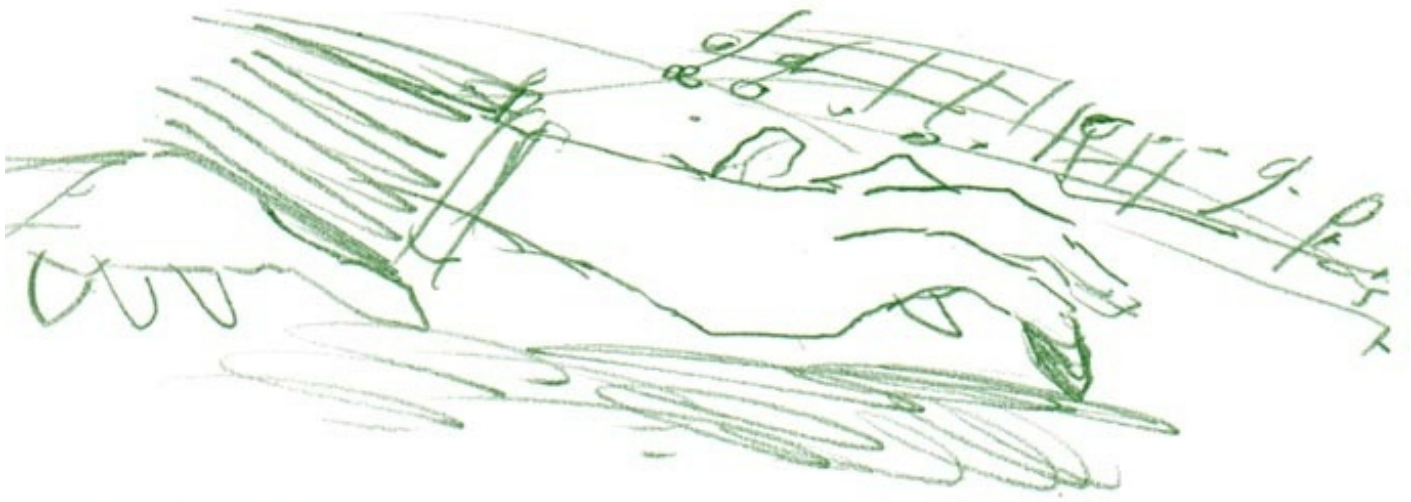
「いっしょに」



「弾きます。」

「あなたのために」





ラ……
ララララ……
ラ

さわやかにさよげ
いこころよ



きらめけ
ま月せよ

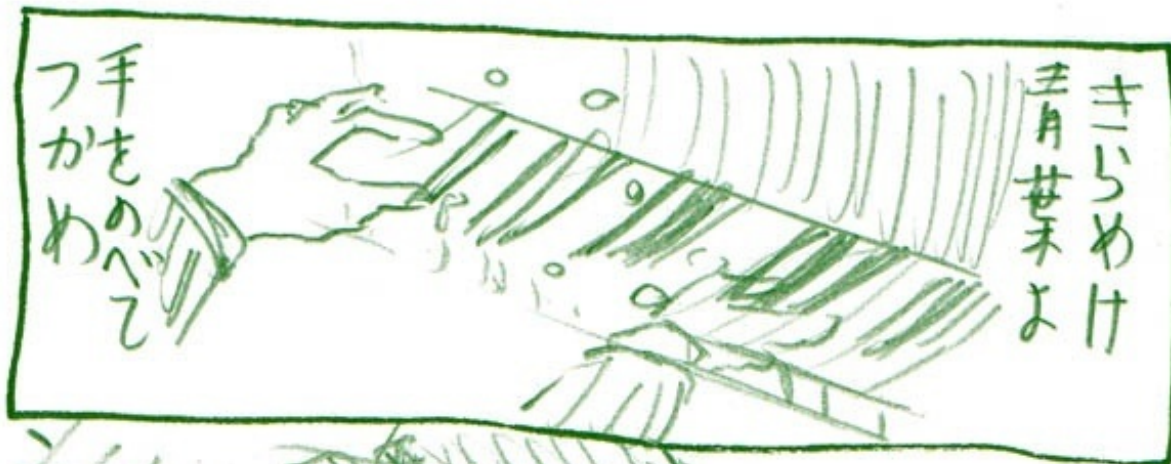




世界中をフなぐ日か



ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ



手
か
わ
の
ハ
て

キ
ら
め
け
ま
ま
よ

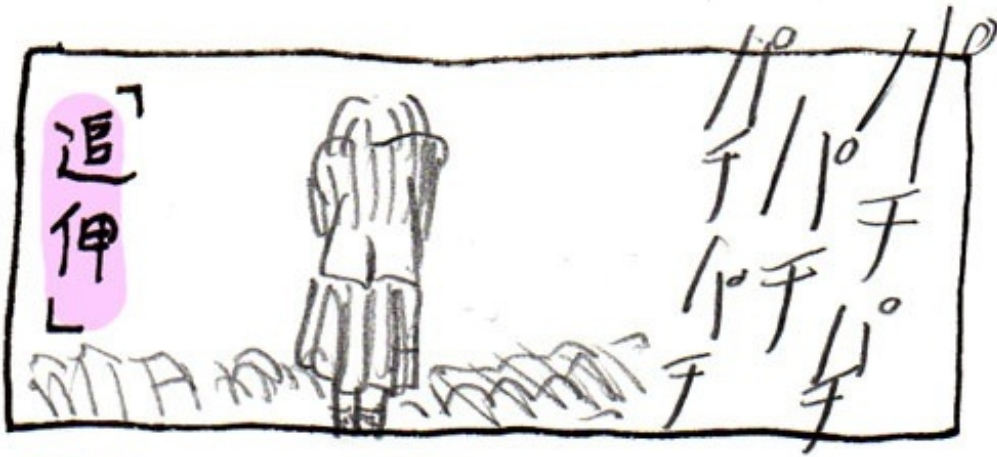


こ
ろ
も
!!

こ
ろ
も



こ
ろ
も
!



「**追**伸」

パ
チ
パ
チ
パ
チ
パ
チ
パ
チ

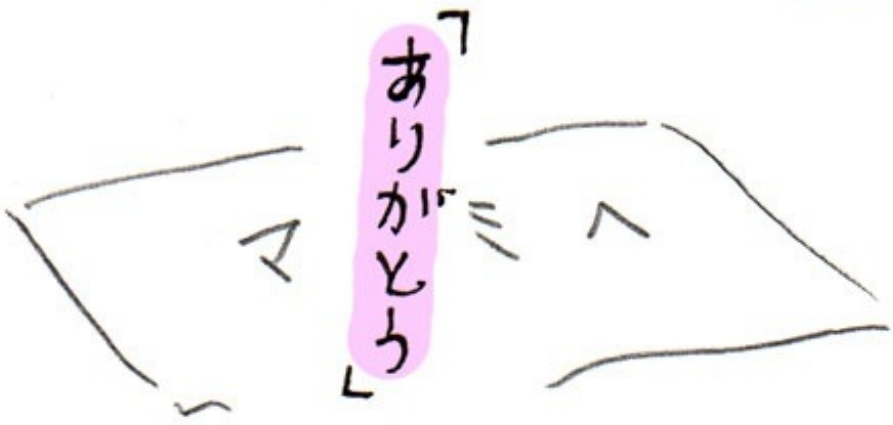


「**音**楽室で
あなたと
歌った毎日」



「**一**生の
思い出です。」

「**私**の」



「**あ**りがとう」



おしまい

おはようなら。

おしまい